



2019年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- |     |                                    |
|-----|------------------------------------|
| I   | スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び   |
| II  | マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成           |
| III | スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築        |
| IV  | 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成 |
| V   | スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成      |

道府県・政令市名【 埼玉県 】

学校名【 県立羽生第一高等学校 】

1 実践テーマ	【 I ・ III ・ V 】
2 実施対象者 (学年・人数)	1 学年及び3学年の希望者 30人
3 展開の形式	<p>(1) 学校における活動</p> <p>①教科名 ( )</p> <p>②行事名 (ボッチャ体験研修会)</p> <p>③その他 ( )</p> <p>(2) 地域における活動</p> <p>①イベント名 ( )</p> <p>②その他 ( )</p>
4 目標 (ねらい)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・パラリンピック種目である「ボッチャ」を体験することで、新たな一歩を踏む出すきっかけを作る。</li> <li>・人間の多様性を認め合い、人間の強さやすごさを身をもって体験する。</li> </ul>
5 取組内容	<p>・令和元年10月3日(木) 14:40~16:35 埼玉県ボッチャ協会講師紹介</p>  <p>ボッチャについて、ルール説明</p> 

	<p>試合を行いながら、ルール説明、技術指導</p> 
<p>6 主な成果</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>•パラリンピック競技である「ボッチャ」を体験することにより、障害者スポーツに対する理解が深まった。</li> </ul>
<p>7 実践において工夫した点 (事業の特色)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>•教員と生徒が一緒に研修を受けた。</li> <li>•参加者全員に実体験してもらうため、希望者を募って実施した。</li> </ul> 
<p>8 主な課題等</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>•LHRのレクレーションやスポーツ大会の実施種目としたかったが、1回の研修では、生徒は審判までではできず、実施できなかった。</li> <li>•体験実施種目の選定、講師の依頼は、事前の十分な準備と調整が必要である。今回は、昨年度の「埼玉ワークショップ」の競技体験が参考になった。</li> </ul>
<p>9 来年度以降の実施予定</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>•パラリンピック競技体験として、車イスバスケットの体験を実施したい。</li> </ul>

2019年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- |     |                                    |
|-----|------------------------------------|
| I   | スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び   |
| II  | マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成           |
| III | スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築        |
| IV  | 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成 |
| V   | スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成      |

道府県・政令市名【 埼玉県 】

学校名【 県立羽生第一高等学校 】

1 実践テーマ	【 I ・ V 】
2 実施対象者 (学年・人数)	全学年 642人
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ①教科名 ( ) ②行事名 (アスリートによる講演会) ③その他 ( ) (2) 地域における活動 ①イベント名 ( ) ②その他 ( )
4 目標 (ねらい)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オリンピックの講演会を通じて、アスリートの生き方やスポーツに関する様々なキャリアを学ぶ</li> <li>・トップアスリートを身近に感じ、生徒自らもチャレンジするきっかけを作る。</li> </ul>
5 取組内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・NIE 実践校として毎日5紙が各クラスへ届くことを利用して、オリンピック・パラリンピック関係の記事のスクラップを実施</li> <li>・事前 オリンピックや競泳についての事前学習プリントを生徒に配付し、学習を行った。</li> <li>・令和元年10月10日(木) 13時35分から15時25分 星 奈津美氏入場・紹介 講演「競泳人生で学んだ大切なこと」 途中ビデオ視聴、生徒全員がオリンピック銅メダルに触れる 生徒代表お礼の言葉、花束贈呈 記念写真撮影</li> </ul>
6 主な成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国際舞台を経験しているオリンピックから「一日一日を大切に。あとに悔いを残さないようにベスト尽くしてほしいと」エールの言葉をもらい、生徒たちの心に響いた。自分も目標や夢に向かって努力しようというやる気につながった。</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・困難を乗り越えて、目標を達成することの大切さ、素晴らしさを再確認することができた。</li> <li>・トップアスリートの生の声を聞いて、トップアスリートでしか感じられない感覚を聞くことができた。</li> </ul>
<p>7 実践において工夫した点 (事業の特色)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・質問者として、本校職員・生徒を立て、トーク形式で実施した。</li> <li>・質問者はKJ法を使い、質問事項を検討した。</li> <li>・当日、講演前に質問者と星氏と打ち合わせを行った。</li> </ul>  <ul style="list-style-type: none"> <li>・ロンドンとリオデジャネイロオリンピックの銅メダルを持ってきてもらった。生徒全員が銅メダルを手を持つことができた。</li> </ul>  <ul style="list-style-type: none"> <li>・全員で記念写真を撮影した。</li> </ul>
<p>8 主な課題等</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・費用の範囲内で講演をしてくれる人選が課題である。</li> <li>・昨年の反省を生かし、事前指導は計画的にできたが、事後指導が不十分であった。(実施するまでで力を使い切ってしまう。)</li> <li>・講演者の予定に学校の予定を合わせなくてはならない。</li> </ul>
<p>9 来年度以降の実施予定</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・できれば現役アスリートの講演・交流を通して、スポーツの理解やその学びをさらに深めていきたい。</li> <li>・本県出身者に国際舞台で活躍している人や企業チームの指導者として活躍している人も多い。本校生徒との交流の機会を設け、先輩から後輩にオリンピック・パラリンピックのレガシーを引き継ぐ機会を継続して実施したい。</li> </ul>